



ONTAP Tools for VMware vSphereメンテナンスコンソールへのアクセス

ONTAP tools for VMware vSphere 10

NetApp
September 30, 2025

This PDF was generated from <https://docs.netapp.com/ja-jp/ontap-tools-vmware-vsphere-101/manage/maintenance-console.html> on September 30, 2025. Always check docs.netapp.com for the latest.

目次

ONTAP Tools for VMware vSphereメンテナンスコンソールへのアクセス.....	1
ONTAP Tools for VMware vSphereメンテナンスコンソールの概要.....	1
リモート診断アクセスの設定	2
他のノードでSSHを開始する	3
vCenter ServerとONTAPのクレデンシャルを更新する	3

ONTAP Tools for VMware vSphereメンテナンスコンソールへのアクセス

ONTAP Tools for VMware vSphereメンテナンスコンソールの概要

ONTAP toolsのメンテナンスコンソールを使用して、アプリケーション、システム、およびネットワークの構成を管理できます。管理者パスワードとメンテナンスパスワードを変更できます。また、サポートバンドルの生成、さまざまなログレベルの設定、TLS設定の表示と管理、リモート診断の開始を行うこともできます。

メンテナンスコンソールにアクセスするには、ONTAP Tools for VMware vSphereの導入後にVMware Toolsをインストールしておく必要があります。`maint`ONTAP toolsのメンテナンスコンソールにログインするには、導入時に設定したユーザ名とパスワードにを使用する必要があります。メンテナンスコンソールまたはrootログインコンソールでファイルを編集するには、`* nano *`を使用する必要があります。



`diag`リモート診断を有効にするときは、ユーザのパスワードを設定する必要があります。

メンテナンスコンソールにアクセスするには、導入したONTAP tools for VMware vSphereの*[概要]*タブを使用する必要があります。をクリックすると、メンテナンスコンソールが起動します。

* コンソール・メニュー *	* オプション *
アプリケーションの設定	1. サーバステータスの概要を表示します。 2. VASA ProviderサービスおよびSRAサービスのログレベルの変更 3. AutoSupportを無効にする
システム構成	1. 仮想マシンの再起動 2. 仮想マシンのシャットダウン 3. マネージャUIパスワードをリセットするためのトークンの生成 4. タイムゾーンの変更 5. 新しいNTPサーバの追加 6. jailディスクサイズを増やす (/jail) 7. アップグレード 8. VMware Toolsのインストール

ネットワーク構成	1. IPアドレス設定を表示します。 2. ドメイン名検索設定の表示 3. ドメイン名検索設定の変更 4. 静的ルートを表示します。 5. 静的ルートの変更 6. 変更のコミット 7. ホストへのpingの実行 8. デフォルト設定に戻す
サポートと診断	1. 診断シェルへのアクセス 2. リモート診断アクセスの有効化

リモート診断アクセスの設定

diagユーザのSSHアクセスを有効にするようにONTAP tools for VMware vSphereを設定できます。

- 必要なもの *

vCenter Serverインスタンスに対してVASA Provider拡張機能を有効にする必要があります。

- このタスクについて *

SSHを使用してdiagユーザアカウントにアクセスする場合は、次の制限事項があります。

- SSHのアクティブ化ごとに許可されるログインアカウントは1つだけです。
- diagユーザアカウントへのSSHアクセスは、次のいずれかの状況になると無効になります。
 - タイムアウトした場合。

ログインセッションは翌日の午前0時まで有効です。

- SSHを使用してdiagユーザとして再度ログインした場合

- 手順 *

1. vCenter Serverで、VASA Providerへのコンソールを開きます。
2. maintenanceユーザとしてログインします。
3. と入力 `4` して[Support and Diagnostics]を選択します。
4. と入力し `3` て[Enable remote diagnostics access]を選択します
5. y[Confirmation]ダイアログボックスでと入力して、リモート診断アクセスを有効にします。
6. リモート診断アクセス用のパスワードを入力します。

他のノードでSSHを開始する

アップグレードの前に、他のノードでSSHを開始する必要があります。

- 必要なもの *

vCenter Serverインスタンスに対してVASA Provider拡張機能を有効にする必要があります。

- このタスクについて *

アップグレードの前に、各ノードでこの手順を実行してください。

- 手順 *
- 1. vCenter Serverで、VASA Providerへのコンソールを開きます。
- 2. maintenanceユーザとしてログインします。
- 3. と入力 `4` して[Support and Diagnostics]を選択します。
- 4. と入力し `1` で[診断シェルにアクセス]を選択します。
- 5. と入力し `y` で次に進みます。
- 6. コマンド `_sudo systemctl restart ssh_` を実行します。

vCenter ServerとONTAPのクレデンシャルを更新する

メンテナンスコンソールを使用して、vCenter ServerインスタンスとONTAPクレデンシャルを更新できます。

- 必要なもの *

メンテナンスユーザのログインクレデンシャルが必要です。

- このタスクについて *

導入後にvCenter Server、ONTAP、またはデータLIFのクレデンシャルを変更した場合は、この手順を使用してクレデンシャルを更新する必要があります。

- 手順 *
- 1. vCenter Serverで、VASA Providerへのコンソールを開きます。
- 2. maintenanceユーザとしてログインします。
- 3. と入力 2 して[System Configuration Menu]を選択します。
- 4. と入力 9 してONTAP資格情報を変更します。
- 5. と入力 10 してvCenterクレデンシャルを変更する。

著作権に関する情報

Copyright © 2025 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S. このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。